

## 中国語ピンイン教育方法についての探求Ⅱ

——「中国語音節表」と「拼音日本語読み音節表」とを比較して

梁 継国

大森 真理

### 要旨

昨年、「中国語ピンイン教育方法の探求」を発表した。主として、現在出版されている中国語初級テキストにあるピンイン教育内容部分を改善し、日本人学生に中国語発音習得の難関をいかに乗り越えられるかについて検討した。結果として、テキストにあるピンイン教育の部分が多少いほど、学生にとっては、逆に中国語発音習得の難しさが増え、その中国語発音習得に対して、心理的にやる気をなくさせ、中国語発音の完全把握に支障をもたらしてしまうことになる。原因を追及すると、以下のようなことが分かる。他外国語の場合、発音記号と文字表記とは一緒になっており、発音を勉強すると同時に、単語（言葉）を身につけることになる。それと比べて、中国語は、発音記号と文字表記とは全く別なものであるため、今までのテキストにある内容の配分だと、発音の部分が終わってから単語（言葉）の勉強に入るようなことにより、発音と単語との習得を分けてしまい、発音の段階だけでは発音を完全にマスターすることが出来ず、発音再教育をしなければならないことになる。余計に中国語の発音が難しいと感じさせられてしまうのである。そのために、テキストから中国語発音教育の内容を簡素化して、出来るだけ発音と同時に言葉の勉強をさせるようにと提案し、論を結んだ。もちろん、その結論を出すためには、筆者が教えている複数の大学の数百人に上る学生を対象にしたアンケート調査のデータを根拠にした。その研究を踏まえ、今度は、「中国語音節表」と日本人の作った「拼音日本語読み音節表」とを比較して、調査結果のデータをもとに、日本人学習者がいかに中国語の発音を間違っって読み、どうして中国語にある巻舌音等の特殊な発音を身につけられないかを論証し、前回の教科書内容の改善のための裏付けを探り、日本人習得者の中国語発音の習得に寄与したい。

## はじめに

平成23年度発行の『茨城大学 大学教育センター紀要』第1号に寄稿し、「中国語ピンイン教育方法の探求」を発表した。主として、中国語初級テキスト作成の角度から、現在出版されている中国語初級テキストにあるピンイン教育内容部分を改善し、日本人学生に中国語発音習得の難関をいかに乗り越えられるかとのことについて検討した。結果として、テキストにあるピンイン教育の部分が多いほど、学生にとっては、逆に中国語発音習得の難しさが増え、その中国語発音習得に対して、心理的にやる気をなくさせ、中国語発音の完全把握に支障をもたらしてしまうことになる。原因を追及すると、以下のようなことが分かる。他外国語の場合、発音記号と文字表記とは一緒になっており、発音を勉強すると同時に、単語（言葉）を身につけることになる。それと比べて、中国語は、発音記号と文字表記とは全く別なものであるため、今までのテキストにある内容の配分だと、発音の部分が終わってから単語（言葉）の勉強に入るようなことにより、発音と単語との習得を分けてしまい、発音の段階だけでは発音を完全にマスターすることが出来ず、発音の再教育をしなければならないことになる。余計に中国語の発音が難しいと感じさせられてしまうからである。そのために、テキストから中国語発音教育の内容を簡素化して、出来るだけ発音と同時に言葉の勉強をさせるようにと提案し、論を結んだ。もちろん、その結論を出すためには、筆者が教えている複数の大学の数百人に上る学生を対象にしたアンケート調査のデータを根拠にした。その研究を踏まえ、今度は、「中国語音節表」と日本人の作った「拼音日本語読み音節表」とを比較し、調査結果のデータをもとに、日本人学習者がいかに中国語の発音を間違っ読み、どうして中国語の発音を身につけられないかを論証し、前回の教科書内容の改善のための裏付けを探り、日本人習得者の中国語発音の習得に寄与したい。

### 一．日本人学生の中国語発音把握度調査

上記の『茨城大学 大学教育センター紀要』第1号に載せていただいた「中国語ピンイン教育方法の探求」に使われたアンケート調査結果のデータは、二つの部分に分かれ、それぞれ以下のように作成した。

まず、教科書についてのデータであるが、近年来朝日出版社、郁文堂、白水社に出版された全部で123冊の初級中国語テキストを対象に代表的なもの5冊ずつを選出し分析を加えたものである。結論としては、非常に繁雑で、発音教育の期間中では、完全には身につけられず、会話や本文篇に入っても続けて発音の問題により、履修者は悩まされることになる。最悪の場合は、発音の難関を乗り越えられず、中国語の履修をあきらめてしまうのである。これについては、教科書にあるピンイン教育の内容の短縮、ピンインという中国語の発音記号

と同時に、中国語の単語（言葉）と一緒に履修させると提案した訳である。

次に、そのテキスト内容の改善のために、筑波大学、茨城大学、大妻女子大学、つくば国際大学で中国語履修者を対象にアンケート調査をした結果を整理して作成したデータを示した。このデータは、日本人学生中国語履修者の、中国語単母音、複母音、前鼻音、後鼻音、子音、卷舌音の習得状況、難易点などをポイントにして、大学別に整理して作成した。結果として、どの大学の学生でも母音については、ほぼ100%の習得率になっており、中に前後鼻音に少し問題があるものの、平均習得率は80%以上に達していることが分かった。子音についてもほぼ100%習得できるが、全く習得できず、平均習得率は0%の部分もあった。

かなり凸凹がでているようであるが、そのデータを次のように引用しておくことにする。

### 1. 母音について

調査項目	単母音			複母音	前母鼻音	後母鼻音
	a o i u	e	ü er	ai ei ao ou ia ie iao iou ua uo ai uei ue	an en in ian uan uen	ang eng ong ing iang iong uang ueng
筑波大学	100	0	33	100	100	87
茨城大学	100	0	32	100	100	87
大妻女子大学	100	0	27	100	100	78
つくば国際大学	100	0	0	94	89	69

### 2. 子音について

調査項目	習得率%									
	唇音	舌尖音	舌根音			舌面音			舌歯音	卷舌音
大学名	b p m f	d t n l	G	k	h	j	q	x	z c s	zh ch sh r
筑波大学	100	100	100	0	100	100	95	100	0	0
茨城大学	100	100	100	0	100	100	95	100	0	0
大妻女子大学	100	100	100	0	100	100	77	100	0	0
つくば国際大学	100	100	100	0	100	100	55	100	0	0

## 二. 調査結果分析

この調査結果から見れば、中国語履修者としての学生にとっては、母音では、「e」と「er」、子音では「z c s」と「zh ch sh r」が、かなり問題になっており、殆ど出来ておらず、しかしそれ以外は、ほぼ完全に出来ていることが分かる。その原因については、既刊の『茨城大学 大学教育センター紀要』第1号に載せていただいた「中国語ピンイン教育方法の探求」において次のように分析した。

日本人の学生履修者は皆長年にわたって英語の勉強をしてきたものであり、日本語のローマ字も熟知しているから、中国語発音の中にある巻舌音「zh ch sh r」以外はほぼ発音できる。<sup>①</sup>

しかし、巻舌音については、そうはいえなくなる。日本語にはそのような発音がないからであろうか。ところで、その調査結果を見て、もう一つ目立っているのは、舌歯音「Z C S」もうまく行かないことである。日本語には「ず、つ、す」がある。似ているのに、うまく発音できないのはどうしてであろうか。非常に不思議である。

そのような問題を抱えて、いろいろ調べてみたが、偶然とはいえ、中国語学習というホームページが検索された。中には、日本人の作った「拼音日本語読み音節表」<sup>②</sup>が見付けられた。制作者は不明であるが、日本語のカタカナで中国の発音を出来るだけ正確に表現しようと努めている意欲とその丁寧さは印象的であった。よく見てみると、まず、音声系統における中国語と日本語との相違性が分かる。また日本語を母語とする日本人の中国語音声についての認識の一端も伺える。最後に、その「拼音日本語読み音節表」をたよりにしては、中国語発音の学習は岐途に陥ってしまうのではないかと心配してしまう。そのために、どのテキスト（中国語初級）にも載せられている「中国語発音一覧表」とその「拼音日本語読み音節表」を次に並べ、対照研究を通して、中国語履修学生達の巻舌音「ZH、CH、SH、R」並びに舌歯音「Z、C、S」をうまく身に付けられない原因とそのような発音を教えるときの教員としてしなければならない工夫について、まとめてみようと考えた訳である。

まず下記の中国語の音節表は、中国語の標準語にあるすべての発音音素（各少数民族言語、漢民族居住の各地域の方言を除く）を網羅して編成されたものであり、中国語履修者にとっては、一番オーソドクスなものであり、中国語入門の際にはまずマスターしなければならない内容である。しかし、見て分かるように、中には、例えば、巻舌音など日本語にはないような発音もあるため、それを完全にマスターするには、そう簡単なことではない。上記の日本人学生を対象にしたアンケート結果を見てもそのことは分かるであろう。偶然ではあるが、ホームページ「中国語学習Wiki」には、日本人の作った「拼音日本語読み音節表」が見つかった。日本語のカタカナで、その難しい中国語発音一覧表にある各音節を標記しているもので、日本人の中国語履修者には中国語発音を身につける為の一助になることは言うまでもないが、日本語カタカナによって中国語の発音をきれいに標記しきれいか否かは疑わしい。いつ誰によって作られたものであるかも不詳であるが、日本人の中国語発音に対する認識の一端が伺えることは間違いなからう。それを下記に並べ、細かく分析してみようと思う。それによって、日本人中国語履修者の中国語発音を完全にマスターできない原因とつなげることが出来れば、幸いである。

三、「中国語音節表」と「拼音日本語読み音節表」との対照研究

「中国語音節表」<sup>③</sup>

	b	p	m	f	d	t	n	l	g	k	
a	a	ba	pa	ma	fa	da	ta	na	la	ga	ka
o	o	bo	po	mo	fo						
e	e					de	te	ne	le	ge	ke
ê											
ai	ai	bai	pai	mai		dai	tai	nai	lai	gai	kai
ei	ei	bei	pei	mei	fei	dei	tei	nei	lei	gei	kei
ao	ao	bao	pao	mao		dao	tao	nao	lao	gao	kao
ou	ou		pou	mou	fou	dou	tou	nou	lou	gou	kou
an	an	ban	pan	man	fan	dan	tan	nan	lan	gan	kan
en	en	ben	pen	men	fen	den		nen		gen	ken
ang	ang	bang	pang	mang	fang	dang	fang	nang	lang	gang	kang
eng	eng	beng	peng	meng	feng	deng	feng	neng	leng	geng	keng
er											
i	yi	bi	pi	mi		di	ti	ni	li		
ia	ya								lia		
ie	ye	bie	pie	mie		die	tie	nie	lie		
iao	yao	biao	piao	miao		diao	tiao	niao	liao		
iou	you			miu		diu		niu	liu		
ian	yan	bian	pian	mian		dian	tian	nian	lian		
in	yin	bin	pin	min				nin	lin		
iang	yang							niang	liang		
ing	ying	bing	ping	ming		ding	ting	ning	ling		
u	wu	bu	pu	mu	fu	du	tu	nu	lu	gu	ku
ua	wa									gua	kua
uo	wo					duo	tuo	nuo	luo	guo	kuo
uai	wai									guai	kuai
uei	wei					dui	tui			gui	kui
uan	wan					duan	tuan	nuan	luan	guan	kuan
uen	wen					dun	tun		lun	gun	kun
uang	wang									guang	kuang
ueng	weng					dong	tong	nong	long	gong	kong
ü	ü							nü	lǜ		
üe	yüe							nüe	lüe		
üan	yüan								liuan		
ün	yün								lün		
iong	yong										

h	j	q	x	zh	ch	sh	r	z	c	s
ha				zha	cha	sha		za	ca	sa
he				zhe	che	she	re	ze	ce	se
hai				zhai	chai	shai		zai	cai	sai
hei				zhei	chei	shei		zei	cei	sei
hao				zhao	chao	shao	rao	zao	cao	sao
hou				zhou	chou	shou	rou	zou	cou	sou
han				zhan	chan	shan	ran	zan	can	san
hen				zhen	chen	shen	ren	zen	cen	sen
hang				zhang	chang	shang	rang	zang	cang	sang
heng				zheng	cheng	sheng	reng	zeng	ceng	seng
	ji	qi	xi	zhi	chi	shi	ri	zi	ci	si
	jia	qia	xia							
	jie	qie	xie							
	jiao	qiao	xiao							
	jiu	qiu	xiu							
	jian	qian	xian							
	jinq	qin	xin							
	jiang	qiang	xiang							
	jing	qing	xing							
hu				zhu	chu	shu	ru	zu	cu	su
hua				zhua	chua	shua	rua			
huo				zhuo	chuo	shuo	ruo	zuo	cuo	suo
huai				zhuai	chuai	shuai				
hui				zhui	chui	shui	ruì	zui	cui	sui
huan				zhuan	chuan	shuan	ruan	zuan	cuan	suan
hun				zhun	chun	shun	run	zun	cun	sun
huang				zhuang	chuang	shuang				
hong				zhong	chong		rong	zong	cong	song
	ju	qu	xu							
	jue	que	xue							
	juan	quan	xuan							
	jun	qun	xun							
	jiong	qiong	xiong							

「拼音日本語読み音節表」<sup>④</sup>表1<sup>⑤</sup>

		a		o		e		-i	
唇音	b	ba	バ	bo	ボ				
唇音	p	pa	パ	po	ポ				
唇音	m	ma	マ	mo	モ	me	ムオ	mi	ミ
唇音	f	fa	ファ	fo	フォ				
舌尖音	d	da	ダ			de	ドウオ		
舌尖音	t	ta	タ			te	トウオ		
舌尖音	n	na	ナ			ne	ヌオ		
舌尖音	l	la	ラ			le	ルウオ		
舌根音	g	ga	ガ			ge	クウオ		
舌根音	k	ka	カ			ke	クウオ		
舌根音	h	ha	ハ			he	フウオ		
舌面音	j								
舌面音	q								
舌面音	x								
卷舌音	zh	zha	ヂャ			zhe	ヂュオ	zhi	ヂ
卷舌音	ch	cha	チャ			che	チュオ	chi	チ
卷舌音	sh	sha	シャ			she	シュオ	shi	シ
卷舌音	r					re	ルオ	ri	リ
舌歯音	z	za	ザ			ze	ズオ	zi	ズ
舌歯音	c	ca	ツア			ce	ツオ	ci	ツ
舌歯音	s	sa	サ			se	スオ	si	ス

表2

	ai		ei		ao		ou		an		
唇音	b	bai	バイ	bei	ベイ	bao	バオ		ban	バン	
唇音	p	pai	パイ	pei	ペイ	pao	パオ	pou	パオウ	pan	パン
唇音	m	mai	マイ	mei	メイ	mao	マオ	mou	マオウ	man	マン
唇音	f			fei	フェイ			fou	フォウ	fan	ファン
舌尖音	d	dai	ダイ	dei	デイ	dao	ダオ	dou	ダオウ	dan	ダン
舌尖音	t	tai	タイ			tao	タオ	tou	タオウ	tan	タン
舌尖音	n	nai	ナイ	nei	ネイ	nao	ナオ	nou	ノオウ	nan	ナン
舌尖音	l	lai	ライ	lei	レイ	lao	ラオ	lou	ロウ	lan	ラン
舌根音	g	gai	ガイ	gei	ゲイ	gao	ガオ	gou	ガオウ	gan	ガン
舌根音	k	kai	カイ			kao	カオ	kou	カオウ	kan	カン
舌根音	h	hai	ハイ	hei	ヘイ	hao	ハオ	hou	ハオウ	han	ハン
舌面音	j										
舌面音	q										
舌面音	x										
卷舌音	zh	zhai	チャイ	zhei	ゼイ	zhao	チャオ	zhou	チャウ	zhan	チャン
卷舌音	ch	chai	チャイ			chao	チャオ	chou	チャオウ	chan	チャン
卷舌音	sh	shai	シャイ	shei	シェイ	shao	シャオ	shou	シャウ	shan	シャン
卷舌音	r					rao	ラオ	rou	ロオウ	ran	ラン
舌歯音	z	zai	ザイ	zei	ゼイ	zao	ザオ	zou	ゾウ	zan	ザン
舌歯音	c	cai	ツアイ			cao	ツアオ	cou	ツオウ	can	ツアン
舌歯音	s	sai	サイ			sao	サオ	sou	ソオウ	san	サン

	en		ang		eng		ong		
唇音	b	ben	ベン	bang	バン	beng	バン		
唇音	p	pen	パン	pang	パン	peng	パン		
唇音	m	men	マン	mang	マン	meng	マン		
唇音	f	fen	フェン	fang	ファン	feng	フォン		
舌尖音	d	den	デン	dang	ダン	deng	ダン	dong	ドン
舌尖音	t	ten	タン	tang	タン	teng	タン	tong	トン
舌尖音	n	nen	ネン	nang	ナン	neng	ナン	nong	ノン
舌尖音	l			lang	ラン	leng	ラン	long	ロン
舌根音	g	gen	ガン	gang	ガン	geng	ガン	gong	ゴン
舌根音	k	ken	カン	kang	カン	keng	カン	kong	コン
舌根音	h	hen	ハン	hang	ハン	heng	ハン	hong	ホン
舌面音	j								
舌面音	q								
舌面音	x								
卷舌音	zh	zhen	チェン	zhang	チャン	zheng	チャン	zhong	チョン
卷舌音	ch	chen	チェン	chang	チャン	cheng	チャン	chong	チョン
卷舌音	sh	shen	シェン	shang	シャン	sheng	シャン		
卷舌音	r	ren	レン	rang	ラン	reng	ラン	rong	ロン
舌歯音	z	zen	ゼン	zang	ザン	zeng	ザン	zong	ゾン
舌歯音	c	cen	ツェン	cang	ツァン	ceng	ツェン	cong	ツォン
舌歯音	s	sen	セン	sang	サン	seng	サン	song	ソン





表4

	u	ua	uo	uai	uei	uan	uen	uang	ueng	
唇音	b	bu	ブ							
唇音	p	pu	プ							
唇音	m	mu	ム							
唇音	f	fu	フ							
舌尖音	d	du	ドウ		duo	dui	duan	dun		
舌尖音	t	tu	トゥ		tuo	tui	tuan	tun		
舌尖音	n	nu	ヌ		nuo					
舌尖音	l	lu	ル		luo			lun		
舌根音	g	gu	グ	gua	guo	guai	gui	guan	gun	guang
舌根音	k	ku	ク	kua	kuo	kuai	kui	kuan	kun	kuang
舌根音	h	hu	フ	hua	huo	huai	hui	huan	hun	huang
舌面音	j									
舌面音	q									
舌面音	x									
そり舌音	zh	zhu		zhua	zhuo	zhuai	zhui	zhuan	zhun	zhuang
そり舌音	ch	chu			chuo	chuai	chui	chuan	chun	chuang
そり舌音	sh	sh		shua	shuo	shuai	shui	shhan	shun	shang
そり舌音	r	ru			ruo		ruì	ruan	run	
舌歯音	z	zu			zuo		zui	zuan	zun	
舌歯音	c	cu			cuo		cui	cuan	cun	
舌歯音	s	su			suo		sui	suan	sun	
		wu		wa	wo	wai	wei	wan	wen	wang weng

表5

	ü	üe	üan	ün
唇音	b			
唇音	p			
唇音	m			
唇音	f			
舌尖音	d			
舌尖音	t			
舌尖音	n	nü	nüe	
舌尖音	l	lü	lüe	
舌根音	g			
舌根音	k			
舌根音	h			
舌面音	j	ju	jue	juan jun
舌面音	q	qu	que	quan qun
舌面音	x	xu	xue	xuan xun
そり舌音	zh			
そり舌音	ch			
そり舌音	sh			
そり舌音	r			
舌歯音	z			
舌歯音	c			
舌歯音	s			
		yu	yue	yuan yun

表1は、中国語の子音各種が母音「a o i e」との組み合わせを表したものである。なぜだか分からないが、「u」と「ü」が入っていない。しかし、それよりも問題となるのは、「e」についてである。例えば、「d」と「e」との組み合わせである「de」は「ドウオ」と表記され、「m」と「e」との組み合わせは「ムオ」と表記されている。ここで表記とはいえ、日本人がそう読んでいるからである。その読み方を中国語履修学生に教えたら、当然ではあるが、正確には発音できないであろう。

表2は、中国語の子音と複母音との組み合わせである。中国語の複母音は単母音の組み合わせで出来たものと鼻音（前鼻音と後鼻音）との二種類ある。この「拼音日本語読み音節表」を見れば、単母音の組み合わせで出来たものは、非常に正確に表記されているようで、つまり日本語で正確に読めるようなものだと思う。学生の中国語履修者を対象としたアンケート調査結果を見ても、パーフェクトに近いほどうまく発音が出来、身につけられているのである。しかし、鼻音の部分になると、そう芳ばしくないようである。この「拼音日本語読み音節表」を見ても、かなりの程度に間違っている。「pan」「pang」「pen」「peng」が全部一律に「パン」と読まれているのである。そして、「tan」「tang」「ten」「teng」が一律に「タン」と読まれている。更に中国人にとって理解に苦しむのは、「dan」「dang」「deng」をみな「ダン」と読んでいることである。つまり日本人は前鼻音と後鼻音とを分けられないのであろうかと疑いたい。実際はそうでもないようである。例えば、「安全」（前鼻音）と「案内」（後鼻音）を発音できないまたは間違っただけで発音する日本人は今まで、見たことはないのである。確かに日本語の音声理論には、前鼻音と後鼻音をはっきり分けて、目立つほど強調したり、説明したりするような説はまだ見ていないが、もし本当に前鼻音と後鼻音をはっきり分けられないようだったら、学生の中国語履修者にとってもそれを身につけることはもう無理であろう。その意味で、教員という中国語の教育者が工夫をして、まず自分が正確に発音できるようになってから、そのコツを履修者の学生達に教えるべきである。例えば先の「tan」は「タン」と読んで結構であるが、「tang」は「タン」を読み、「dang」は「ダン」と読むべきであろう。また、巻舌音についてみてみよう。この表2には、中国語巻舌音の発音音素で、子音である「r」「zh」「ch」「sh」と単母音または複母音との組み合わせが集中的に表記されている。が、残念ながら、殆ど間違っているのである。「r」については、他の母音との組み合わせはみな日本語の「ら」行で発音されているし、「zh」「ch」「sh」については、それぞれ「ヂ」「チ」「シ」と発音されていて、全く巻舌音になっていないようである。例えば、日本の日という字「ri」を中国人の名字「李」(li)と同じように発音してしまったりする。そのためか、当然、他の母音との組み合わせも正確に表記するはずはなかろう。日本語にはない発音であるから、仕方がないと言えば、仕方がないが、中国語履修者の学生達に身につけさせることとなれば、そうはいかなくなるであろう。やはり、教員の工夫に頼るほかなかろう。

表3は、中国語の子音とやや難しい複母音との組み合わせになっている。やや難しいとい

うのは、単母音と鼻音との組み合わせ、例えば、「ian」「iang」「in」「ing」などである。ここにも不思議な表記または読み方があった。「bing」を「ビュン」と、「ping」を「ピュン」と「ming」を「ミュン」と、「ding」を「デュン」と、「ting」を「テユン」と、「ning」を「ニュン」とそれぞれ読んでいるのである。非常に理解に苦しむが、どうして日本人が、中国語の後鼻音「ing」をみな「ユン」と読んだのであろうか。また、「biao」を「ビャオ」と、「piao」を「ピャオ」と、「miao」を「ミャオ」と、「diao」を「デャオ」と、「tiao」を「テャオ」と、「niao」を「ニャン」と、「liao」を「リャオ」と、「nyao」と、「jiao」を「ジャオ」と、「qiao」を「チャオ」と、「xiao」を「シャオ」と読んでいるのである。つまり、中国語発音にある「i」が全部抜けている。もちろん、頭文字の「ピ」「ピ」「ミ」「ニ」「ジ」「チ」「シ」の中には、「i」の音素が入って入るが、ここで抜けてしまうことは、中国語の発音を正確に発音できなくなった一番大きな原因ではないかと思う。というのは、中国語の「iao」は、三つの単母音によって出来た一つの音節であるので、どれ一つ抜けても、完全な複母音としての音節にはならなくなってしまふ。中国語の子音「j」「q」「x」等には既に「i」の音素が入っていると言うことが出来る。

表4は、中国語の子音と「u」が頭文字になっている複母音との組み合わせである。しかし、子音と単母音の「u」との組み合わせだけにカタカナでその発音を表記しているが、他のものの発音表記はない。表記できないのか、中国語の子音と「u」が頭文字になっている複母音との組み合わせについて苦手であるかは不詳である。そのせいかも知れないが、中国語履修者学生を対象としたアンケート調査結果でも、その部類の発音についての把握状況はあまり芳ばしくないようである。その意味でやはり教員の工夫を頼りにするしかないが、中国語の発音構造が十分に理解できない限り、学生に正確に発音させることも難しいであろう。

表5は中国語の子音と「ü」を頭文字とする他の複母音との組み合わせである。原因は不明であるが、カタカナの発音表記は一つも付いていない。

## おわりに

中国語の音節表と日本人がそれにカタカナを付けた「拼音日本語読み音節表」とを合わせてみてきたが、残念ながら、その「拼音日本語読み音節表」は、あまり正確に中国語の音節を表記していない。中国語履修学生達に少しでも中国語発音を身につけるのにヒントを与えようとしたが、学生達の中国語履修にはあまり寄与することが出来ないようである。それは日中両国の言語が、異なる音声体系に属しているし、中国語にはあっても、日本語にはないもの、例えば、巻舌音などがあるからであろう。また、中国語でも日本語でも、基本的には同じようであるが、いくつかの単母音以外はみな子音と母音との組み合わせで発音するものである。しかし、その組み合わせ方の多様性について言えば、日本語は断然中国語には及ば

